

平成27年度



通常総会議案書



日時 : 平成27年2月21日 (土) 16:00～

場所 : 高陽荘



(一社) 新潟県臨床検査技師会 上越支部

総会次第

1. 開会の辞
2. 議長選出
3. 議長挨拶
4. 総会役員選出
 - 1) 資格審査委員任命
 - 2) 書記任命
5. 支部長挨拶
6. 来賓挨拶
7. 資格審査報告
8. 議案審議
 - 第1号議案 平成26年度事業報告
 - 第2号議案 平成26年度決算報告
 - 第3号議案 平成27年度事業計画案
 - 第4号議案 平成27年度予算案
 - 第5号議案 平成27・28年度支部役員について
 - 第6号議案 会員提出議案について
9. 総会役員および書記解任
10. 議長挨拶
11. 閉会の辞

第1号議案

平成26年度事業報告

平成25年度新潟県臨床検査技師会上越支部通常総会は平成26年2月22日（土）高陽荘にて開催され平成26年度の事業方針案、同予算案、規約改正議案等が審議され、提案どおり承認、可決され新年度の方針が決定された。その方針を基調として今年度の活動を行った。一般社団法人化された最初の年度であったが、大きな問題もなく、順調に活動が行えたと考える。

今後も更なる臨床検査技師の技術向上と社会的認知度向上にも努め、会務の推進とともに活発な活動に努めて参りたい。

以下、実施した事業について各部ごとに報告する。

I：学術部門

1) 支部研修会

1 秋季研修会：第103回上越支部研修会

平成26年9月27日（土） 新潟県教職員互助会館 高陽荘
一般演題

- ・「腹部超音波による胃瘻後患者の上部消化管運動機能の検討」
厚生連上越総合病院 西澤 佳代
- ・「心臓リハビリテーションでの臨床検査技師の役割」
厚生連糸魚川総合病院 寺島 健
- ・「尿細胞診陽性例の検討」
県立中央病院 林 真也
- ・「ATBF1免疫染色の条件設定で痛感した抗原賦活法選択の重要性」
新潟労災病院 藤縄 勇治

特別講演

- ・「輸血検査の基礎～クロスマッチ・不規則抗体検査について～」
新潟県赤十字血液センター 古俣 妙 先生

2 春季研修会：第104回上越支部研修会

平成27年2月21日（土） 新潟県教職員互助会館 高陽荘

講演1 「腫瘍マーカーの基礎と各項目の臨床的有用性」

講師：富士レビオ(株) 学術サービス部 福田 雅之助 先生

講演2 「ミトコンドリアCKを阻害したCK-MB測定試薬の有用性」

講師：株式会社シノテスト 甲信越支店
アシスタントエリアマネージャー 塚本 和範 先生

講演3 「尿沈渣検査で得られる成分について」

講師：東洋紡株式会社 藤本 聖人 先生

2) 研究班活動

1 検体検査研究班（臨床化学部門・微生物部門）

平成26年度班長：新潟県立中央病院 片岡 奈緒美

平成26年12月9日（火）新潟県立中央病院にて、「救急検査認定技師について」を、認定資格を取得された高橋政江技師から講演していただいた。また、シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社の小笠原剛先生を講師に迎え、「救急現場での血液ガスデータの読み方」について講演していただいた。45名が参加した。

2 形態検査研究班（血液・血清部門 病理部門 一般検査部門）

平成26年度班長：新潟労災病院 押山 ルミ子

平成26年10月22日（水）新潟労災病院会議室にて積水メディカル株式会社カスタマーサポートセンター学術東日本グループの須長宏行先生を講師にお招きし、「苦手解消！基礎からわかる血液凝固（遭遇する可能性のある異常値を理解する）」の研修会を実施しました。31名の参加があった。

3 生理検査研究班（生理検査部門）

平成26年度班長：新潟県立中央病院 菊地 真弓

平成27年1月14日（水）県立中央病院にて、フクダ電子株式会社の仁田原武先生を講師に迎え、「精密肺機能検査の測定原理、測定手技、データの解釈と最近のトピックス」の研修会を行った。25名が参加し、肺機能測定時の注意事項やその評価について講演していただいた。

4 地域保健活動

下記研修会について後援および共催団体として参加した。

- i 第99回新潟動脈硬化性疾患研究会
平成26年 7月28日（月） ロワジールホテル
- ii 第49回上越糖尿病内分泌研究会
平成26年11月 7日（金） 上越医師会館
- iii 第36回上越循環器談話会
平成26年11月27日（木） やすね

II：広報部門

1) 上越支部だより

第198号から第201号まで4回発行した。なるべく会員が分かり易いような内容になるよう努め、又様子が分かるよう写真も少し大きめにとりいれてみた。

2) 支部ホームページ

昨年度と同様に研修会や研究班の勉強会などのお知らせを中心に情報提供に努めた。今年度途中より新潟県臨床検査技師会ホームページへの掲載可能となり、上越支部単独のホームページが閉鎖となった。各種案内等が遅くならないように新潟県臨床検査技師会ホームページへ更新した。

3) 新潟県臨床検査技師会誌投稿

上越支部会員として以下の投稿があった。

第291号 研修会参加報告 日臨技北日本支部生物化学分析部門遺伝子染色体分野研修会
新潟県立中央病院 林 真也

- 第291号 研修会参加報告 生理機能検査部門生体画像分野研修会
上越地域総合健康管理センター 渡邊 妙子
- 第292号 検査技師として～私の奮戦記～
国立病院機構さいがた医療センター 島田 朋幸
- 第293号 検査技師として～私の奮戦記～
上越地域総合健康管理センター 隠田 えり果
- 第294号 研修会参加報告 第2回輸血・移植分野実技講習会
国立病院機構さいがた医療センター 島田 朋幸
- 第294号 研修会参加報告 上越支部秋季研修会
新潟労災病院 土屋 誠
- 第294号 施設紹介
厚生連糸魚川総合病院 寺島 健
- 第294号 検査技師として～私の奮戦記～
上越環境科学センター 高原 瞳

Ⅲ：組織活動

新入会、転勤および退会により、現在上越支部会員数は150名（平成27年2月末日現在）となっている。

前年度の同時期と比較すると4名の減少となった。検体採取の法改正による業務拡大も良い方向に向くと考えられるが、今日の社会および医療情勢を考えると、今後も大幅な会員増は期待できない。よって更なる会員同士間の交流促進、実務に貢献できる研修会の実施、生涯教育としての情報・知識・技術を得る講習会の開催など、会員の充実感を得られるような努力が必要である。

日臨技として国会議員に働きかけ、法律等の改正を推進する目的で「日本臨床検査技師連盟」が結成されている。毎年、県および支部としても加入を勧めているが、思うような成果が得られていないのが現状である。

今後も医療行政が良い方向に向く為にも政治力は重要と考え、一人でも多くの加入をお願いしたい。

また、災害時メーリングリストの登録についても加入をお願いしたい。

・支部レクリエーション

6月26日（木）やすねビアガーデンにて参加技師39名、メーカー関連13名の計52名で上越支部情報交換会、10月30日（木）上越レジャーランボウルにて参加技師37名、メーカー関連10名の計47名で親睦ボウリング大会を開催した。普段なかなか顔を合わせる事の出来ない会員同士の交流を深める事が出来た。

今後も気軽に大勢が参加できる企画を計画していきたい。

IV：生涯教育

今年度も秋季研修会(9月27日)、春季研修会(2月21日)と上越支部主催の生涯教育対象研修会を2回開催することができた。また各研究班の研修会、関係団体との共催・後援の研修会でも点数取得が可能であった。

研修会参加によって履修点数を取得し、検査技師の知識・技術の向上につながるよう引き続き計画していきたい。

V：役員会議

以下の日程にて、支部役員会議を開催した。

2014年（平成26年）

- 4月17日（木） 定例役員会
- 5月22日（木） 定例役員会（拡大）
- 6月19日（木） 定例役員会
- 7月24日（木） 定例役員会
- 8月27日（水） 定例役員会
- 9月16日（火） 定例役員会
- 10月16日（木） 定例役員会
- 11月20日（木） 定例役員会

2015年（平成27年）

- 1月29日（木） 定例役員会
- 2月10日（火） 定例役員会

VI：総会

平成26年度通常総会

平成27年2月21日（土）高陽荘にて、平成26年度活動報告および会計報告、平成27年度事業計画（案）および予算（案）の審議を行った。

VII：総括

今年度は新ブロックかつ新体制の2年目であり、去年の経験を踏まえ、会員の要望・希望のあったものを実現すべく企画・運営にあたってきた。

研修会については秋季研修会は会員参加による一般演題発表を中心に企画にあたった。春季研修会は特別講演を中心に企画・運営を行った。今後も医療に対する関心をもっていただくのはもちろん、臨床検査技師の知名度向上および地域貢献できるような技師会活動が実践できたらと考える。

地域保健活動については3つの研究会に後援団体として参加した。引き続き、次年度においても参加する予定である。

広報については支部だよりを中心に会員に対してサポートや情報提供ができるようにしたい。

今年度途中より様々な情報の提供・共有ができる県技師会ホームページが開設された。今後は会員には是非、活用していただきたい。

最後になるが、会員からの様々な要望、課題について役員会において検討し、今年度の課題とする。

第2号議案

平成26年度決算報告

平成26年4月1日～平成27年3月31日

収入の部
(単位：円)

| 項目 | 平成26年度予算 | 平成26年度決算 | 差額 | 備 考 |
|--------|----------|----------|--------|------------|
| 前年度繰越金 | 72,527 | 72,527 | 0 | |
| 支部会費 | 153,000 | 149,000 | -4,000 | 1,000×149名 |
| 支部強化費 | 80,000 | 79,000 | -1,000 | |
| その他 | 50,000 | 113,234 | 63,234 | 総会残金・預金利息等 |
| 合計 | 355,527 | 413,761 | 58,234 | |

支出の部
(単位：円)

| 項目 | 平成26年度予算 | 平成26年度決算 | 差額 | 備 考 |
|--------|----------|----------|---------|-------------|
| 会議費 | 120,000 | 86,060 | -33,940 | 役員交通費・日当 |
| 研究会費 | 150,000 | 147,186 | -2,814 | 秋・春季研修会・総会費 |
| 研究班費 | 20,000 | 10,661 | -9,339 | 各研究班研修会講師謝礼 |
| 交流会費 | 40,000 | 33,652 | -6,348 | ボウリング大会 |
| 事務・通信費 | 20,000 | 26,642 | 6,642 | 切手・文房具代 |
| 雑費 | 5,527 | 14,188 | 8,661 | 印鑑作成代 |
| 合計 | 355,527 | 318,389 | -37,138 | |

※上記収支差引残高 95,372円（収入合計413,761円－支出合計318,389円）を次年度へ繰り越します。

会計係 高橋 奈津子
会計監査 丸山 晴義
会計監査 安原 亜佐子


※会計監査報告は別紙参照


会計監査報告

平成27年1月26日、新潟労災病院検査室にて行い、
歳入歳出及び出納簿の計数は正確に記載されており、また関係証拠書類及び
領収書については正確に処理されていることを認めます。

平成27年1月26日

新潟県臨床検査技師会上越支部

会計監査 丸山 晴義 

会計監査 安原 亜佐子 

第3号議案

平成27年度事業計画（案）

平成27年度事業方針について

平成27年度は平成28年度に開催される日臨技北日本支部医学検査学会（第4回）の準備年度となる。支部活動は県技師会および各支部との協力はもちろん、前年度の様々な経験を生かして円滑な企画・運営を実施していく。

活動方針としては支部の特色を出した活動ができるような企画を考え、地域貢献および医療知識や技術の向上、臨床検査技師の認知度向上にも努める。また、各施設の技師間の情報共有、コミュニケーションをとれる機会や場を提供していく。

各研究班活動についても研修会等、活動しやすいように最大限サポートする。

以下に部門ごとの計画を報告する。

I：学術部門

1) 学会・研修会

1 平成27年度 県学会（平成27年10～11月）

平成28年度開催予定の日臨技北日本支部医学検査学会の準備も兼ねて新潟支部が担当予定。

2 平成27年度 秋季研修会（第105回）（平成27年9月～11月頃）

開催日・場所・研修会内容を決定次第、お知らせします。

3 平成27年度 春季研修会（第106回）・総会（平成28年2～3月頃）

開催日・場所・研修会内容を決定次第、お知らせします。

2) 研究班

1 検体検査研究班（臨床化学部門・微生物部門）

平成27年度班長：県立中央病院 片岡 奈緒美

年1回以上の開催を行い、皆様のご要望に沿った研修会を行いたいと思います。

2 形態検査研究班（血液・血清部門、病理部門、一般検査部門）

平成27年度班長：新潟労災病院 押山 ルミ子

年1回以上の研修会を開催して行きたいと思います。皆様のご要望に沿えられるよう頑張っていきますので、よろしくお願ひします。

3 生理検査研究班（生理検査部門）

平成27年度班長：県立中央病院 菊地 真弓

年1回以上の研修を行いたいと思いますのでよろしくお願ひします。

II：広報部門

1) 上越支部だより

学術活動・組織活動の案内を多くの会員の方に参加して頂ける様な内容にしていきたい。

2) ホームページ

今後も定期的に更新を行い、研修会・勉強会・各種イベントなどできるだけ早く新しい情報の発信をしていきたい。また、上越支部に関係する規約や議案書等の掲載も行っていきたい。

III：組織活動

引き続き、新人・再入会会員の確保に取り組み、支部組織拡大を進めていきたい。また、「日本臨床検査技師連盟」への加入を推進していきたい。

災害時のメーリングリストの登録も引き続き推進していきたい。

* 技師連盟加入者 全国 1,571口 新潟県39口
(平成27年1月26日現在)

* 災害支援ネットワーク 60名
(平成26年12月19日現在)

第4号議案

平成27年度予算（案）について

収入の部

(単位：円)

| 項目 | 平成27年度予算 | 平成26年度決算 | 平成26年度予算 |
|--------|----------|----------|----------|
| 前年度繰越金 | 95,372 | 72,527 | 72,527 |
| 支部会費 | 149,000 | 149,000 | 153,000 |
| 支部強化費 | 79,000 | 79,000 | 80,000 |
| その他 | 30,000 | 113,234 | 50,000 |
| 合計 | 353,372 | 413,761 | 355,527 |

支出の部

(単位：円)

| 項目 | 平成27年度予算 | 平成26年度決算 | 平成26年度予算 |
|--------|----------|----------|----------|
| 会議費 | 120,000 | 86,060 | 120,000 |
| 研究会費 | 150,000 | 147,186 | 150,000 |
| 研究班費 | 20,000 | 10,661 | 20,000 |
| 交流会費 | 40,000 | 33,652 | 40,000 |
| 事務・通信費 | 20,000 | 26,642 | 20,000 |
| 雑費 | 3,372 | 14,188 | 5,527 |
| 合計 | 353,372 | 318,389 | 355,527 |

第5号議案

平成27・28年度支部役員について

平成26年度上越支部役員選考委員会報告

平成27年1月9日から1月16日まで支部長立候補者を募ったが、立候補者はいなかった。よって上越支部役員選出規定により選考委員を選出後、平成27年1月27日（火）新潟労災病院技師室にて支部役員選考委員会を開催した。

選考委員は以下のとおりである。

| | |
|----------------|-------------------|
| 県立中央病院 | 建部 勝彦 |
| 厚生連糸魚川総合病院 | 藤田 陽介 |
| 上越地域総合健康管理センター | 生田 直美 |
| 新潟労災病院 | 佐藤 まゆみ |
| 上越環境科学センター | 勝島 嘉紀 |
| 上越地域医療センター病院 | 高橋 裕子 |
| 新潟労災病院 | 小澤 博幸（上越支部長として参加） |

選考委員長には委員の互選により厚生連糸魚川総合病院 藤田 陽介技師を選出した。委員会で選考を行った結果、平成27・28年度支部役員を以下のように選出した。

| | |
|------------|----------------|
| 役員 小坂橋 亜紀子 | 県立中央病院 |
| 役員 池田 友美 | 県立中央病院 |
| 役員 寺島 健 | 厚生連糸魚川総合病院 |
| 役員 笹川 亮 | 厚生連上越総合病院 |
| 役員 渡邊 妙子 | 上越地域総合健康管理センター |
| 役員 川上 順一 | 上越地域総合健康管理センター |
| 役員 土屋 誠 | 新潟労災病院 |
| 役員 吉澤 彰 | 三交病院 |
| 役員 高橋 裕子 | 上越地域医療センター病院 |

支部長には厚生連糸魚川総合病院 寺島 健技師を選出した。

第6号議案

会員提出議案について

一般社団法人新潟県臨床検査技師会 上越支部規約

(名 称)

第1条 一般社団法人新潟県臨床検査技師会定款（以下定款）第6条により一般社団法人新潟県臨床検査技師会上越支部と称し、事務所を上越支部内に置く。

(構 成)

第2条 支部の構成は、一般社団法人新潟県臨床検査技師会組織運営規程第2条別表1に定める支部内に居住並びに勤務する臨床検査技師をもって構成する。

(目 的)

第3条 定款第3条による他、相互の融和を図ることを目的とする。

(事 業)

第4条 この支部は、前条の目的達成のため定款第4条による他、次の事業を行う。

- 1) 会員福祉の増進及び融和に関する計画
- 2) その他目的達成に必要な事業

(運 営)

第5条 支部の運営は、会費及び寄付金等をもって当てる。

2. 会費は年額1000円とし前納する。但し、納入した会費は返還しない。
3. 会計年度は、4月1日から翌年3月31日までとする。

(役 員)

第6条 支部に次の役員を置き、総会において選出し任期は2年とする。

2. 支部長1名、副支部長1名、理事若干名、会計監事2名。
3. 前項の役員並びに県役員は、別に定める選考規程により選出する。
4. 支部長、副支部長は、理事の互選とする。
5. 理事及び会計監事は相互に兼任することは出来ない。

(顧問・名誉会員)

第7条 顧問並びに名誉会員を置くことが出来る。

2. 顧問並びに名誉会員は、学識経験者及び本会の功績者の中から推薦し理事会の承認を得て支部長が委嘱する。
3. 顧問並びに名誉会員は、規約に定める支部の会費は免除する。

(会 議)

第8条 会議は、総会並びに理事会とし、総会は年1回開催し、理事会は支部長が必要に応じて開催する。

第9条 総会は会員の過半数（委任状を含む）を持って成立する。
2. 会議の決議事項は、出席者の過半数の同意により決定する。

(規約の変更)

第10条 この規約は、総会の議決を経なければ変更することは出来ない。

付 則

1. この規約は、平成2年10月1日より施行する。
2. この規約は、平成19年3月17日より一部改正。
3. この規約は、平成26年2月22日より一部改正。

上越支部役員選出規定

第1条 一般社団法人新潟県臨床検査技師会組織運営規程第4条1項及び支部規約第6条3項によって役員選出規程を設ける。

第2条 上越支部役員選出委員会と称し委員はブロックから各1名を選出する。

2. 前項の委員は、支部長が委嘱する。
3. 委員の任期は2年とする。
4. 役員選出委員長は、委員の互選により選出する。

第3条 役員の選出方法は、役員選出委員会に委ねる。

第4条 役員の選出結果は、支部総会の承認を得る。

第5条 この規程は理事会の議決を経なければ変更することは出来ない。

付 則

1. この規程は、平成2年10月1日より試行する。
2. この規程は、平成19年2月21日より一部改正。
3. この規定は、平成23年3月6日より一部改正。
4. この規約は、平成26年2月22日より一部改正。

平成26年度 上越支部役員

| | | |
|--------|--------|------------------|
| 支部長 | 小澤 博幸 | (新潟労災病院) * |
| 副支部長 | 藤田 陽介 | (厚生連糸魚川総合病院) |
| 組織活動 | 大瀧 直也 | (厚生連上越総合病院) ※ |
| 組織活動 | 武田 友美 | (知命堂病院) |
| 学術 | 羽賀 純子 | (県立妙高病院) ※ |
| 学術 | 根本 一平 | (県立中央病院) ※ |
| 広報 | 渡辺 文子 | (上越地域総合健康管理センター) |
| 生涯教育 | 横田 直美 | (上越地域総合健康管理センター) |
| 会計 | 高橋 奈津子 | (県立中央病院) |
| ホームページ | 藤田 陽介 | (厚生連糸魚川総合病院) |
| 表彰委員 | 藤縄 勇治 | (新潟労災病院) |
| 会計監査 | 丸山 晴義 | (高井脳外科クリニック) |
| | 安原 亜佐子 | (新潟労災病院) |

※は転勤に伴う役員変更 (H26度より)

*は新潟県常任理事

平成27～28年度 上越支部役員

| | | |
|-----|---------|------------------|
| 支部長 | 寺島 健 | (厚生連糸魚川総合病院) |
| 役員 | 小坂橋 亜紀子 | (県立中央病院) |
| 役員 | 池田 友美 | (県立中央病院) |
| 役員 | 笹川 亮 | (厚生連上越総合病院) |
| 役員 | 渡邊 妙子 | (上越地域総合健康管理センター) |
| 役員 | 川上 順一 | (上越地域総合健康管理センター) |
| 役員 | 土屋 誠 | (新潟労災病院) |
| 役員 | 吉澤 彰 | (三交病院) |
| 役員 | 高橋 裕子 | (上越地域医療センター病院) |

以下については後日に選任し、同意をいただいて決定いたします。

ホームページ

表彰委員

会計監査

新潟県理事（支部長は常任理事、他2名を役員の中から選出）